

厚生労働大臣
長 妻 昭 殿

学校法人 金沢医科大学
理事長 山下 公

金沢医科大学病院の業務に関する報告について

標記のことについて、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 20 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

| | | |
|--------|----|---|
| 研修医の人数 | 45 | 人 |
|--------|----|---|

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照 (様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

| 職種 | 常勤 | 非常勤 | 合計 | 職種 | 員数 | 職種 | 員数 |
|-------|-------|--------|---------|---------|-------|-------------|------|
| 医師 | 299 人 | 6.6 人 | 305.6 人 | 看護業務補助者 | 109 人 | 診療エックス線技師 | 0 人 |
| 歯科医師 | 8 人 | 0 人 | 8 人 | 理学療法士 | 16 人 | 臨床検査技師 | 56 人 |
| 薬剤師 | 43 人 | 0 人 | 43 人 | 作業療法士 | 7 人 | 衛生検査技師 | 0 人 |
| 保健師 | 3 人 | 0 人 | 3 人 | 視能訓練士 | 9 人 | その他 | 0 人 |
| 助産師 | 12 人 | 0 人 | 12 人 | 義肢装具士 | 0 人 | あん摩マッサージ指圧師 | 0 人 |
| 看護師 | 594 人 | 21.8 人 | 615.8 人 | 臨床工学技師 | 11 人 | 医療社会事業従事者 | 5 人 |
| 准看護師 | 7 人 | 2.5 人 | 9.5 人 | 栄養士 | 4 人 | その他の技術員 | 15 人 |
| 歯科衛生士 | 7 人 | 0 人 | 7 人 | 歯科技工士 | 3 人 | 事務職員 | 92 人 |
| 管理栄養士 | 14 人 | 0 人 | 14 人 | 診療放射線技師 | 32 人 | その他の職員 | 63 人 |

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

| | 歯科等以外 | 歯科等 | 合計 |
|---------------|-----------|-----------|-----------|
| 1 日当たり平均入院患者数 | 654.0 人 | 4.3 人 | 658.3 人 |
| 1 日当たり平均外来患者数 | 1,077.2 人 | 45.4 人 | 1,122.6 人 |
| 1 日当たり平均調剤数 | | 1,151.7 剤 | |

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数 (毎日の 24 時現在の在院患者数の合計) を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|--|--------------------------------------|--------|
| 高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 凍結保存同種組織を用いた外科治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 胎児心超音波検査 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| インプラント義歯 | <input checked="" type="radio"/> 有・無 | 1人 |
| 顎顔面補綴 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 顎関節症の補綴学的治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 人工括約筋を用いた尿失禁の治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 光学印象採得による陶材歯冠修復法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 経皮的レーザー椎間板減圧術 | <input checked="" type="radio"/> 有・無 | 4人 |
| 造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| CTガイド下気管支鏡検査 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 先天性血液凝固異常症の遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 三次元形状解析による顔面の形態的診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 腹腔鏡下肝部分切除術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 悪性腫瘍に対する陽子線治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| エキシマレーザーによる治療的角膜切除術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 成長障害のDNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 声帯内自家側頭筋膜移植術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 骨髄細胞移植による血管新生療法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ミトコンドリア病のDNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 鏡視下肩峰下腔徐圧術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 神経変性疾患のDNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 難治性眼疾患に対する羊膜移植術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 重粒子線治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 神経芽腫のRNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 重症BCG副反応症例における遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 腓腫瘍に対する腹腔鏡補助下腓切除術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| エキシマレーザー冠動脈形成術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 活性化Tリンパ球移入療法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|---|----------------------------|--------|
| 家族性アルツハイマー病の遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ケラチン病の遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 末梢血幹細胞による血管再生治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 末梢血単核球移植による血管再生治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 先天性銅代謝異常症の遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 超音波骨折治療法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテールラメドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 膀胱水圧拡張術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 色素性乾皮症に係る遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 腹腔鏡下直腸固定術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 骨移動術による関節温存型再建 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 肝切除手術における画像支援ナビゲーション | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| リアルタイムPCRを用いた迅速診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 先天性難聴の遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| フェニルケトン尿症の遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 培養細胞による先天性代謝異常診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 腹腔鏡下子宮体がん根治手術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| カフェイン併用化学療法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 胎児尿路・羊水腔シャント術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 内視鏡下甲状腺がん手術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|---|-------|--------|
| 胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術 | 有 ・ 無 | 人 |
| 早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索 | 有 ・ 無 | 人 |
| 副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法 | 有 ・ 無 | 人 |
| 腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。) | 有 ・ 無 | 人 |
| 根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。) | 有 ・ 無 | 人 |

- (注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。
2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

| 疾患名 | 取扱い患者数 | 疾患名 | 取扱い患者数 |
|------------------|--------|---------------------------|--------|
| ・ベーチェット病 | 38人 | ・モヤモヤ病（ウイルス動脈輪閉塞症） | 10人 |
| ・多発性硬化症 | 42人 | ・ウェグナー肉芽腫症 | 2人 |
| ・重症筋無力症 | 34人 | ・特発性拡張型（うっ血型）心筋症 | 10人 |
| ・全身性エリテマトーデス | 104人 | ・多系統萎縮症 | 35人 |
| ・スモン | 1人 | ・表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型） | 2人 |
| ・再生不良性貧血 | 16人 | ・膿疱性乾癬 | 3人 |
| ・サルコイドーシス | 35人 | ・広範脊柱管狭窄症 | 2人 |
| ・筋萎縮性側索硬化症 | 19人 | ・原発性胆汁性肝硬変 | 27人 |
| ・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎 | 62人 | ・重症急性膵炎 | 2人 |
| ・特発性血小板減少性紫斑病 | 28人 | ・特発性大腿骨頭壊死症 | 51人 |
| ・結節性動脈周囲炎 | 14人 | ・混合性結合組織病 | 11人 |
| ・潰瘍性大腸炎 | 58人 | ・原発性免疫不全症候群 | 1人 |
| ・大動脈炎症候群 | 18人 | ・特発性間質性肺炎 | 6人 |
| ・ピュルガー病 | 16人 | ・網膜色素変性症 | 22人 |
| ・天疱瘡 | 5人 | ・プリオン病 | 0人 |
| ・脊髄小脳変性症 | 35人 | ・原発性肺高血圧症 | 2人 |
| ・クローン病 | 31人 | ・神経繊維腫症 | 10人 |
| ・難治性の肝炎のうち劇症肝炎 | 0人 | ・亜急性硬化性全脳炎 | 0人 |
| ・悪性関節リウマチ | 13人 | ・バッド・キアリ（Budd-Chiari）症候群 | 0人 |
| ・パーキンソン病関連疾患 | 104人 | ・特発性慢性肺血栓栓症（肺高血圧型） | 4人 |
| ・アミロイドーシス | 1人 | ・ライソゾーム病（ファブリー[Fabry]病含む） | 0人 |
| ・後縦靭帯骨化症 | 83人 | ・副腎白質ジストロフィー | 2人 |
| ・ハンチントン病 | 1人 | | |

（注） 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病理・臨床検査部門の概要

| | | | |
|-------------------------------------|--|-----|-----------|
| 臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況 | ①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部署にまとめられている。 | | |
| 臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度 | 1か月に6回程度 （臨床－病理部門：5回　臨床－検査部門：1回） | | |
| 剖検の状況 | 剖検症例数 | 64例 | 剖検率 18.3% |

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額(千円) | 補助元又は委託先 |
|--|--------|-----------------|--------|----------------|
| 医学教育における情報ネットワークを利用した学外臨床教育支援システムの開発 | 堀 有行 | 医学教育学 | 1,700 | 補助 文部科学省 |
| 長時間勤務と高血圧発症との関連の追跡研究 | 中村 幸志 | 健康管理センター | 1,600 | 補助 文部科学省 |
| 各種栄養素摂取の長期変化と生活習慣病発症に関する大規模疫学研究 | 櫻井 勝 | 健康増進予防医学(公衆衛生学) | 100 | 補助 文部科学省 |
| 短縮ミッドカインを用いた外科的手術が必要な早期胃癌の新しい診断法 | 伊藤 透 | 内視鏡科 | 2,500 | 補助 文部科学省 |
| 知的クラスター創成事業(第Ⅱ期)ほくりく健康創造クラスター「血液中の有核赤血球の回収・DNA分析システムの開発」 | 高林 晴夫 | FDD-MBセンター | 91,500 | 委託 文部科学省 |
| 疑ウエルナー症候群の病態解明 | 石垣 靖人 | RIセンター | 900 | 補助 文部科学省 |
| ヘルペスにつなげる光触媒型活性酸素パッチの開発 | 石垣 靖人 | RIセンター | 100 | 補助 文部科学省 |
| 抗心筋膜受容体抗体による心筋傷害:抗体吸着療法の開発と創薬の試み | 松井 忍 | 先進医療研究部門 | 1,500 | 補助 文部科学省 |
| 慢性腎不全でのヘパジン発現制御機構の解明ー骨髄造血関連因子の影響ー | 友杉 直久 | 先進医療研究部門 | 1,900 | 補助 文部科学省 |
| 間質性腎炎のマーカーの探索と臨床応用 | 友杉 直久 | 先進医療研究部門 | 2,000 | 委託 (独)科学技術振興機構 |
| 大腸癌の細胞極性の制御異常と悪性化促進におけるRhoGDIβの機能解析 | 太田 隆英 | 分子腫瘍学研究部門 | 1,500 | 補助 文部科学省 |
| 我が国における日本脳炎の現状と今後の予防戦略に関する研究 | 竹上 勉 | 分子腫瘍学研究部門 | 2,200 | 補助 厚生労働省 |
| 白内障患者に対する透明遮光眼鏡の視機能改善効果の解明 | 坂本 保夫 | 環境原性視覚病態研究部門 | 800 | 補助 文部科学省 |
| 経胎盤的母胎間シグナル伝達による胎児脳の発育調節 | 八田 稔久 | 分子細胞形態科学(解剖学) | 3,800 | 補助 文部科学省 |
| 酸素が毒やって知った?ー酸素となかよく生きていくにはー | 島田 ひろき | 分子細胞形態科学(解剖学) | 600 | 委託 (独)日本学術振興会 |
| はやく大きくなあれー我が子に贈るメッセージー | 八田 稔久 | 分子細胞形態科学(解剖学) | 600 | 委託 (独)日本学術振興会 |
| モデル動物を用いた肥満の口腔発がんへの関与に関する研究 | 田中 卓二 | 腫瘍病理学(病理学I) | 2,300 | 補助 文部科学省 |
| 海洋性カロノイドの抗炎症作用をターゲットとした生活習慣病予防機能の解明 | 安井 由美子 | 腫瘍病理学(病理学I) | 2,500 | 補助 文部科学省 |
| 核内受容体蛋白を分子標的とした肝癌化学予防に関する研究 | 田中 卓二 | 腫瘍病理学(病理学I) | 1,000 | 補助 文部科学省 |
| 個体レベルでの発がん予知と予防に関する基盤的研究 | 田中 卓二 | 腫瘍病理学(病理学I) | 3,000 | 補助 厚生労働省 |
| 疾患モデル動物を用いた環境発がんの初期発生過程及び感受性要因の解明とその臨床応用に関する研究 | 杉江 茂幸 | 腫瘍病理学(病理学I) | 3,900 | 補助 厚生労働省 |
| がん化学予防剤の開発に関する基礎及び臨床研究 | 田中 卓二 | 腫瘍病理学(病理学I) | 3,500 | 補助 厚生労働省 |
| 食品中の複数の化学物質による健康影響に関する調査研究 | 田中 卓二 | 腫瘍病理学(病理学I) | 4,500 | 補助 厚生労働省 |
| 肺癌進展におけるHMGA2遺伝子の発現誘導機構と活性化パスウェイの網羅的解析 | 上田 善道 | 病理病態学(病理学II) | 1,000 | 補助 文部科学省 |

小計 24件

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額(千円) | 補助元又は委託先 |
|---|--------|----------------------|--------|---------------------------------|
| 悪性中皮腫における癌抑制遺伝子異常-ATBF1 遺伝子解析を中心に- | 湊 宏 | 病態診断医学(臨床病 理学) | 1,300 | 補助 文部科学省 |
| 胃癌再発抑制の新しい戦略-治癒手術後潜在再 発に対する抗癌剤効果予測- | 小坂 健夫 | 消化器外科治療学(消 化器外科学) | 800 | 補助 文部科学省 |
| 屈曲軸内回転を可能とするマイクロ鉗子の開発 | 表 和彦 | 消化器外科治療学(消 化器外科学) | 400 | 補助 文部科学省 |
| 特発性大腿骨頭壊死症の予防と治療の標準化を 目的とした総合研究 | 松本 忠美 | 運動機能病態学(整形 外科学) | 800 | 補助 厚生労働省 |
| 高齢者の習慣性顎関節脱臼の臨床病態学的調 査と低侵襲手術法の確立に向けた開発 | 瀬上 夏樹 | 顎口腔機能病態学(口 腔科学) | 1,800 | 補助 文部科学省 |
| 変形性顎関節症の発症機序と病態の解明:破骨 細胞に対する性ホルモンの影響 | 金山 景錫 | 顎口腔機能病態学(口 腔科学) | 1,100 | 補助 文部科学省 |
| リンパ管系良性・悪性腫瘍の発病進展に關与する 脈管新生因子及び遺伝子変異 | 森田 礼時 | 機能再建外科学(形成 外科学) | 1,600 | 補助 文部科学省 |
| Trichophyton tonsuransの分子疫学的研究 | 望月 隆 | 環境皮膚科学(皮膚科 学) | 200 | 補助 千葉大学真菌医 学研究センター共 同利用研究 |
| 温熱療法の分子基盤の解明-熱ショック誘導性新 規蛋白質の解析を通して | 中島 日出夫 | 腫瘍内科学(腫瘍治療 学) | 1,500 | 補助 文部科学省 |
| 塩酸ゲムシタピンによる膀胱がん細胞のEMT誘導の検 証と分子細胞機構の解明 | 島崎 猛夫 | 腫瘍内科学(腫瘍治療 学) | 600 | 補助 文部科学省 |
| GSK3βのがん促進機能の分子機構解明とその 阻害に基づく消化器がん治療法の開発 | 島崎 猛夫 | 腫瘍内科学(腫瘍治療 学) | 500 | 補助 文部科学省 |
| 我が国における臓器横断的分野としての腫瘍内 科学の確立と集学的がん治療への伝統医学の応 用 | 元雄 良治 | 腫瘍内科学 | 500 | 補助 (公)武見記念生 存科学研究基金 武見奨励賞 |
| 心筋内アディポネクチン発現誘導による心筋再生治 療 | 神田 享勉 | 地域医療学 | 800 | 補助 文部科学省 |
| 姉妹染色体分体の分配を支配するPKU-β/T LK1の機能解析 | 伊達 孝保 | 総合医学研究所 | 1,100 | 補助 文部科学省 |
| マウスES細胞由来心筋細胞の分化成熟過程にお ける分岐構造の非線形力学的解析 | 倉田 康孝 | 生理機能制御学(生理 学) | 1,900 | 補助 文部科学省 |
| 「おいしさ」を科学する:味覚-嗅覚相互連関の解 明 | 須貝 外喜夫 | 生理機能制御学(生理 学) | 700 | 補助 文部科学省 |
| 運動トレーニングの循環ショックへの影響 -肝循環に 注目して- | 宮前 俊一 | 生理機能制御学(生理 学) | 1,000 | 補助 文部科学省 |
| アナフィラキシーショックにおける心機能の統合的研究 | 芝本 利重 | 生理機能制御学(生理 学) | 2,800 | 補助 文部科学省 |
| 複数のモノアミン作動系物質の組み合わせによる 扁桃体神経興奮性調整システム | 山本 亮 | 生理機能制御学(生理 学) | 450 | 補助 (財)日本科学協 会笹川科学研究 助成金 |
| 新規心筋虚血マーカーである血清テオキシホ核酸分 解酵素Iによる不安定狭心症診断 | 河合 康幸 | 循環制御学(循環器内 科学) | 2,200 | 補助 文部科学省 |
| Gene33/RALTは心筋の酸化ストレス障害に対する 制御因子か? | 竹田 健史 | 循環制御学(循環器内 科学) | 1,600 | 補助 文部科学省 |
| 細胞変形に伴う肺胞上皮損傷とToll-like Receptorsの役割 | 梶 博久 | 呼吸機能治療学(呼吸 器内科学) | 1,300 | 補助 文部科学省 |
| 極限高地生息動物の肺循環特性-Rhoキナーゼを 中心とした分子生物学的研究- | 梶 博久 | 呼吸機能治療学(呼吸 器内科学) | 100 | 補助 文部科学省 |
| 肺傷害におけるβ受容体機能再生メカニズムの研 究 | 佐久間 勉 | 呼吸機能治療学(呼吸 器外科) | 1,600 | 補助 文部科学省 |
| 仮想・極細気管支鏡とPET-CTを用いた肺野微小 肺癌の悪性度解析と個別治療の確立 | 佐川 元保 | 呼吸機能治療学(呼吸 器外科) | 500 | 補助 文部科学省 |

小計 25件

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額(千円) | 補助元又は委託先 |
|---|--------|--------------------|--------|-----------------------------|
| がん検診の適切な方法とその評価法の確立に関する研究 | 佐川 元保 | 呼吸機能治療学(呼吸器外科) | 800 | 補助 厚生労働省 |
| がん検診の評価とあり方に関する研究 | 佐川 元保 | 呼吸機能治療学(呼吸器外科) | 3,000 | 補助 厚生労働省 |
| 標準的検診法と精度管理や医療経済的効果に関する研究 | 佐川 元保 | 呼吸機能治療学(呼吸器外科) | 1,000 | 補助 厚生労働省 |
| 神経疾患の診断・治療・予防に関する包括的臨床研究 | 松井 真 | 脳脊髄神経治療学(神経内科学) | 500 | 委託 厚生労働省 |
| 免疫性神経疾患に関する調査研究 | 松井 真 | 脳脊髄神経治療学(神経内科学) | 1,200 | 補助 厚生労働省 |
| 急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究 | 田中 恵子 | 脳脊髄神経治療学(神経内科学) | 1,000 | 補助 厚生労働省 |
| がん早期診断に有用な特異的血清マーカー検出系の確立ー傍腫瘍性神経症候群を対象とし、onconeural protein に反応する自己抗体の網羅的検出系ー | 田中 恵子 | 脳脊髄神経治療学(神経内科学) | 1,000 | 補助 (財)北国がん研究振興財団北国がん基金研究助成金 |
| 抗痙攣薬(フェイトニン)による多発性硬化症急性期治療戦略の開発(実験的自己免疫性脳脊髄炎を用いて) | 長山 成美 | 脳脊髄神経治療学(神経内科学) | 500 | 補助 (財)日本脳神経財団研究助成 |
| 進行性腎疾患コホートにおける機能分子に関するプロテオーム解析 | 横山 仁 | 腎機能治療学(腎臓内科学) | 1,000 | 補助 文部科学省 |
| トロンピン受容体阻害による尿路結石症発生抑制 | 鈴木 孝治 | 泌尿生殖器治療学(泌尿器科学) | 1,000 | 補助 文部科学省 |
| リポアラフト制御による新たな免疫抑制剤の開発 | 梅原 久範 | 血液免疫制御学(血液免疫内科学) | 6,100 | 補助 文部科学省 |
| 金沢医科大学 悪性リンパ腫コントロール・チーム(Lymphoma Control Team: LCT) | 正木 康史 | 血液免疫制御学(血液免疫内科学) | 500 | 補助 (財)北国がん研究振興財団北国がん基金研究助成金 |
| スフィンゴ脂質を分子標的としたがん治療法の開発 | 梅原 久範 | 血液免疫制御学(血液免疫内科学) | 4,000 | 補助 (財)車両競技公益資金記念財団研究助成 |
| 環東シ海に収斂される媒介動物の分布特性に基づく新興再興感染症拡散経路の確定 | 及川 陽三郎 | 生体感染防御学(微生物学・医動物学) | 200 | 補助 文部科学省 |
| 免疫性神経疾患に関する調査研究 | 大原 義朗 | 生体感染防御学(微生物学・医動物学) | 1,200 | 補助 厚生労働省 |
| 社会経済状態とabsenteeism・presenteeism | 石崎 昌夫 | 社会環境保健医学(衛生学) | 1,000 | 補助 文部科学省 |
| タイ王国汚染地域におけるカドミウム暴露と動脈硬化に関する研究 | 中川 秀昭 | 健康増進予防医学(公衆衛生学) | 1,800 | 補助 文部科学省 |
| 日本人の食事におけるグリセミックインデックスと糖尿病発症に関する疫学研究 | 櫻井 勝 | 健康増進予防医学(公衆衛生学) | 1,400 | 補助 文部科学省 |
| 各種栄養素摂取の長期変化と生活習慣病発症に関する大規模疫学研究 | 中川 秀昭 | 健康増進予防医学(公衆衛生学) | 400 | 補助 文部科学省 |
| GISを用いたベトナムでのダイオキシン類による環境汚染と健康影響に関する疫学研究 | 中川 秀昭 | 健康増進予防医学(公衆衛生学) | 1,000 | 補助 文部科学省 |
| メボリック症候群に関する遺伝子多型の疾病リスクと予防医学的評価 | 中川 秀昭 | 健康増進予防医学(公衆衛生学) | 800 | 補助 文部科学省 |
| 食生活・栄養素摂取状況が高齢者の健康寿命に与える影響に関する研究:NIPPON DATA80・90の追跡調査 | 中川 秀昭 | 健康増進予防医学(公衆衛生学) | 300 | 補助 厚生労働省 |
| 特定疾患の疫学に関する研究 | 中川 秀昭 | 健康増進予防医学(公衆衛生学) | 1,000 | 補助 厚生労働省 |
| 大規模コホート共同研究による生活習慣病発症予防データベース構築とその高度利用に関する研究 | 中川 秀昭 | 健康増進予防医学(公衆衛生学) | 2,000 | 補助 厚生労働省 |
| 勤労者の健康づくりのための給食を活用した集団及びハイリスク者への対策に関する研究 | 中川 秀昭 | 健康増進予防医学(公衆衛生学) | 1,500 | 補助 厚生労働省 |

小計 25 件

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額(千円) | 補助元又は委託先 |
|--|-------|--------------------|--------|---------------------------|
| 保健指導への活用を前提としたメボリックシンドロームの診断・管理のエビデンス創出のための横断・縦断研究 | 中川 秀昭 | 健康増進予防医学(公衆衛生学) | 2,400 | 補助 厚生労働省 |
| カドミウム汚染地域における生命予後等に関する疫学研究 | 中川 秀昭 | 健康増進予防医学(公衆衛生学) | 4,600 | 委託 (株)東リリサーチセンター委託事業(環境省) |
| 認知症、運動希疾患等の老年病罹患状況及び高齢者の心身状況把握のための長期疫学的調査研究 | 森本 茂人 | 高齢医学(老年病学) | 7,000 | 委託 厚生労働省 |
| 降圧治療および抗凝固療法の個人の特性に応じたテーラーメイド治療確立に関する研究 | 森本 茂人 | 高齢医学(老年病学) | 500 | 補助 厚生労働省 |
| 川崎病発症に自己免疫機序が関与している:モデルマウスを用いた分子相同仮説の検証 | 中村 常之 | 発生発達医学(小児科学) | 1,400 | 補助 文部科学省 |
| システム生物学にもとづく白血球幹細胞モデルの構築と予測型治療戦略への基盤創成 | 犀川 太 | 発生発達医学(小児科学) | 2,300 | 補助 文部科学省 |
| 治療過程管理を導入した小児横紋筋肉腫にたいする臨床試験と遺伝子解析研究 | 伊川 廣道 | 臓器機能再建学(小児外科学) | 200 | 補助 文部科学省 |
| 近赤外線酸素モニターによるCOMT多型と前頭葉機能の関連-ADHDでの比較- | 地引 逸亀 | 精神神経科学(神経精神医学) | 600 | 補助 文部科学省 |
| 機能的脳画像解析による強迫性障害への認知行動療法の有効性に関する研究 | 小泉 業月 | 精神神経科学(神経精神医学) | 1,400 | 補助 文部科学省 |
| 3DSRT解析による ^{99m} Tc-ECD SPECTを用いた未投薬および未服薬の統合失調症患者における非型抗精神病薬quetiapineの局所脳血流に及ぼす影響に関する研究 | 紋川 明和 | 精神神経科学(神経精神医学) | 500 | 補助 (公)松原三郎記念事業松原記念奨励賞 |
| 正常および敗血症ラットの微小腸間膜動脈運動に及ぼす鎮静薬の影響 | 関 純彦 | 侵襲制御学(麻酔学) | 500 | 補助 文部科学省 |
| 慢性疲労症候群の漢方治療における中枢神経系の再生機構 | 守屋 純二 | 総合内科学(総合診療科) | 2,000 | 補助 文部科学省 |
| 神経-血管相互作用による血管ネットワーク形成に関わる遺伝子群の探索と病理機能 | 米倉 秀人 | ゲノム医科学(生化学) | 1,900 | 補助 文部科学省 |
| M期にDNA損傷を受けた細胞での新規損傷チェックポイントの研究:TLK1の役割 | 橋本 光正 | ゲノム医科学(生化学) | 1,600 | 補助 文部科学省 |
| 増殖性網膜症の新規治療法の開発-miRNAを標的とした血管新生抑制 | 吉竹 佳の | ゲノム医科学(生化学) | 2,800 | 補助 文部科学省 |
| モノユビキチン化53BP1による非同末端結合修復制御機構の解明 | 岩淵 邦芳 | ゲノム医科学(生化学) | 1,400 | 補助 文部科学省 |
| HTLV-1感染によるNF- κ B活性化におけるBcl-3の意義 | 斎藤 孔良 | 生体感染防御学(微生物学・医動物学) | 1,400 | 補助 文部科学省 |
| 覚醒剤関連死の法医病理学的診断の精度向上を目指して:高体温症及び血管障害の解析 | 北村 修 | 法医学 | 1,200 | 補助 文部科学省 |
| 神経細胞傷害と細胞ストレスに着目した覚醒剤少量投与による実験動物モデルの解析 | 武市 敏明 | 法医学 | 1,700 | 補助 文部科学省 |
| 産業領域におけるバーニアウト予防のための介入研究 | 北岡 和代 | 看護学部 | 2,400 | 補助 文部科学省 |
| 眼鏡、サングラスを介して背後から眼内に侵入する紫外線の経路とその防御法 | 小島 正美 | 看護学部 | 700 | 補助 文部科学省 |
| 炎症性大腸癌における一酸化窒素のジェネティック作用とエピジェネティック作用 | 甲野 裕之 | 看護学部 | 1,200 | 補助 文部科学省 |
| 夜勤交代勤務に対する適応過程の追跡研究-睡眠、疲労、バイオマーカーの1年間の追跡 | 森河 裕子 | 看護学部 | 500 | 補助 文部科学省 |
| 甲状腺ホルモン欠乏による胎生期脳障害の病態解明に関する研究 | 柿沼 宏明 | 看護学部 | 1,400 | 補助 文部科学省 |
| 「訪問看護師を対象とした感染管理教育プログラム」の実証と再構築に関する研究 | 前田 修子 | 看護学部 | 900 | 補助 文部科学省 |

小計 25 件

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額(千円) | 補助元又は委託先 |
|---------------------------------------|-------|------|--------|-------------------------|
| 2型糖尿病患者の運動療法のとらえ方からみた運動療法看護教育プログラムの開発 | 山崎 松美 | 看護学部 | 1,800 | 補助 文部科学省 |
| 幼児の午睡と生体リズムとの関連－单相睡眠への移行までの追跡調査－ | 津田 朗子 | 看護学部 | 700 | 補助 文部科学省 |
| 生体腎移植におけるドナーの経験 | 田村 幸子 | 看護学部 | 1,040 | 補助 文部科学省 |
| ヒトがん発生に係わる環境要因及び感受性要因に関する研究 | 甲野 裕之 | 看護学部 | 1,700 | 補助 厚生労働省 |
| 医療・衛生材料確保に関する退院支援マニュアルの開発 | 前田 修子 | 看護学部 | 300 | 補助 日本私立看護系大学協会若手研究者研究助成 |
| 医療・衛生材料確保に関する退院支援マニュアルの開発 | 前田 修子 | 看護学部 | 786 | 補助 (財)在宅医療助成勇美記念財団 |
| 訪問看護師対象の「在宅ターミナルケア」に関する教育プログラム開発 | 前田 修子 | 看護学部 | 200 | 補助 文部科学省 |
| 対人援助職の離職を防ぐためのバーンアウトの予防と回復に関する研究 | 北岡 和代 | 看護学部 | 400 | 補助 文部科学省 |
| 各種栄養素摂取の長期変化と生活習慣病発症に関する大規模疫学研究 | 森河 裕子 | 看護学部 | 100 | 補助 文部科学省 |
| 大学特別ゼミナール「移植を語ろう」 | 田村 幸子 | 看護学部 | 312 | 委託 (独)日本学術振興会 |
| 親業支援プログラムの効果に関する国際比較研究 | 北岡 和代 | 看護学部 | 0 | 補助 英国政府による国際共同研究助 |

小計 11 件

総計 110 件

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 (発行年月) | 題 名 | 発表者名 (著者名) | 所属部門 |
|--|---|-------------------|---------------|
| Modern Physician (2008.4) | 原発性高脂血症 診断のポイント | 梶波康二 | 循環器内科 |
| 日本アフェレンス学会雑誌(2008.4) | 冠動脈硬化症に対するLDLアフェレンス治療 | 本山敦士 | 循環器内科 |
| 臨床栄養 (2008.4) | 遺伝子異常に原因をおく脂質異常症 | 梶波康二 | 循環器内科 |
| 薬局 (2008.4) | 動脈硬化症予防ガイドライン2007年版からみた脂質異常症のとらえ方と治療方針 | 梶波康二 | 循環器内科 |
| 別冊日本臨牀 新領域別症候群シリーズ No.7(2008.4) | XIII 後天性弁膜症 僧帽弁膜症, 僧帽弁逸脱症候群, 僧帽弁腱索断裂 | 津川博一 | 循環器内科 |
| 循環器専門医 (2008.4) | スタチン療法のファーマコゲノミクス—冠動脈疾患治療から心不全治療へ— | 梶波康二 | 循環器内科 |
| Medical Practice (2008.5) | 脂質異常治療薬を循環器疾患治療にどう組み合わせるか | 本山敦士 | 循環器内科 |
| Coronary Intervention | 非CTO病変に対するガイドワイヤーの選択と使用法 | 北山道彦 | 循環器内科 |
| The American Journal of Cardiology (2008.8) | Prevalence and Characterization of Pulmonary Vein Variants in Patients With Atrial Fibrillation Determined Using 3-Dimensional Computed Tomography | Kenichi Kaseno | 循環器内科 |
| 成人病と生活習慣病 (2008.10) | 脂質異常症の遺伝的背景 | 佐藤良子 | 循環器内科 |
| 腎と透析 血液浄化療法2009(2008.12) | 家族性高コレステロール血症(家族性高脂血症) | 赤尾浩慶 | 循環器内科 |
| 内科 (2009.1) | 《正確な診断へいたるための道筋》遺伝子検査が必要な場合とは? | 本山敦士 | 循環器内科 |
| Clinica Chimica Acta (2009.2) | Development of a sensitive enzyme-linked immunosorbent assay for measurement of Dnase I in human serum | Yasuyuki Kawai | 循環器内科 |
| The Tohoku Journal of Experimental Medicine | Increased reabsorption of alveolar edema fluid in the obese zucker rat | 佐久間 勉 | 呼吸器外科学 |
| 金沢医科大学雑誌 (2008.12) | 気道インターベンション治療の有効性に関する検討 | 相川 広一 | 呼吸器外科学 |
| Lung Cancer(2009.3) | Four years experience of the survey quality control of lung cancer screening system in japan | 佐川 元保 | 呼吸器外科学 |
| Anticancer Research(2009.1) | Effect of Polymoter Methylation of multidrug Resistance 1(MDR1)Gene in Gastric Carcinogenesis | TOMIYASU ARISAWA | 消化器機能治療学 |
| Anticancer Research(2009.2) | Effect of Polymorphisms in the 3'-Untranslated Region(3'-UTR)of VEGF Gene on Gastric Pre-malignant Condition | TOMIYASU ARISAWA | 消化器機能治療学 |
| Hepatogastroenterology(2009.3) | COMT Gene Val158Met Polymorphism influences the Severity of interstitial metaplasia in H.Pylori infected older subjects | TOMIYASU ARISAWA | 消化器機能治療学 |
| Scandinavian journal of gastroenterology(2009.3) | Association of polymorphism of the p22PHOX component of NADPH oxidase in gastroduodenal diseases in Japan | TOMIYASU ARISAWA | 消化器機能治療学 |
| Clin Transplant(2008.7月) | Ischemia-reperfusion injury as the leading cause of primary non-function in renal transplantation using donors with prolonged warm | M.Asaka | 腎機能治療学 |
| Ther Apher Dial(2008. 12月) | A case report of an adult with severe hyperlipidemia during acute lymphocytic leukemia induction therapy successfully treated with plasmapheresis | M.Nakagawa | 腎機能治療学 |
| 日腎会誌(2009.1月) | 当院における過去30年間のループス系球体腎炎の臨床病理学的検査 | 奥山 宏 | 腎機能治療学 |
| 透析会誌(2009.3月) | 冠動脈造影による造影剤腎症に対する予防的持続血液透析の有用性に関する検討 | 佐藤一賢 | 腎機能治療学 |
| Diabetes Research and Clinical Practice (2008.9) | AST-120 (Kremezin) initiated in early stage chronic kidney disease stunts the progression of renal dysfunction in type 2 diabetic subjects | 小西 一典 | 内分泌・代謝科 |
| Hypertens Research (2008.5) | Immobilization stress inhibits intimal fibromuscular proliferation in the process of arterial remodeling in rats | 岩井邦充 | 高齢医学 |
| 金沢医科大学雑誌 (2008.8) | Association seroprevalence of human metapneumovirus with small vessel disease with dementia in elderly inpatients in Japan | 能村幸司 | 高齢医学 |
| International Journal of APMIS (2008.6) | Candesartan improves myocardial damage in obese mice with viral myocarditis and induces cardiac adiponectin | 森本茂人 | 高齢医学 |
| | Analysis of children with Chlamydia(Chlamydia) pneumoniae and Mycoplasma pneumoniae respiratory infections by real-time PCR assay and serological tests | Jun-ichi Yamamura | 発生発達医学 (小児科学) |

| 雑誌名 (発行年月) | 題 名 | 発表者名 (著者名) | 所属部門 |
|--|--|--------------------|-----------------|
| 日本小児救急医学会雑誌 (2008.6) | 石川県能登地区の小中学校における教職員の一次救命処置と自動体外式除細動器設置の普及状況 | 中村 常之 | 発生発達医学 (小児科学) |
| 心臓 (2008.7) | 小児心臓カテーテル検査における塩酸デクスメトミジンおよびプロポフォール [®] の安全性と有用性の検討 | 秋田 千里 | 発生発達医学 (小児科学) |
| 日本小児アレルギー学会誌 (2008.8) | 外来での簡単な問診票とチェック表を導入することによる小児気管支喘息ガイドラインに沿った治療推進の効果 | 中村 利美 | 発生発達医学 (小児科学) |
| Pediatric Cardiology (2009.1) | Three-Dimensional Computed Tomographic Findings of Bilateral Tracheal Bronchus | Tsuneyuki Nakamura | 発生発達医学 (小児科学) |
| 北陸公衆衛生学会誌 (2009.3) | 石川県における先天性心疾患の出生前診断と対策: 石川県胎児心エコー研究会がはたすべき役割 | 中村 常之 | 発生発達医学 (小児科学) |
| 日本小児アレルギー学会誌 (2009.3) | 保護者アンケートによる北陸地区における小児気管支喘息診療の実態調査 | 中村 利美 | 発生発達医学 (小児科学) |
| 金医大誌 (2008.12) | アルツハイマー型認知症ならびに近縁の軽度認知障害患者におけるVSRADによる海馬傍回萎縮度と神経心理学的検査成績の関係の検討 | 清水 聡 | 精神神経科学 |
| Can. J. Physiol. Pharmacol (2008.5) | Increase in extracellular dopamine levels during clozapine-induced potentiation in the hippocampal dentate gyrus of chronically prepared rabbits | 窪田 孝 | 精神神経科学 |
| MMPI研究・臨床情報交換誌 (2009.3) | 強迫性障害患者のMMPIプロフィールの特徴 | 小泉 葉月 | 精神神経科学 |
| こころの科学 | 青年期のこころの歩み | 小泉 葉月 | 精神神経科学 |
| Toxicology and Industrial Health (2008.4) | Experimental studies on the bone metabolism of male rats chronically exposed to cadmium intoxication using dual-energy X-ray absorptiometry | 横田 啓 | 放射線診断治療学 |
| 小児科臨床 (2008.4) | 不明熱の原因として忘れてはならない急性巣状細菌性腎炎 一画像診断の有用性— | 的場 宗孝 | 放射線診断治療学 |
| 金沢医科大学雑誌 (2008.10) | 放射線治療後の早期治療効果判定における高分解能MR imagingおよび ¹ H-MR spectroscopyの有用性に関する実験的検討 | 近藤 環 | 放射線診断治療学 |
| 日人工関節会誌 (2008.12) | ジルコニア骨頭に対するポリエチレン磨耗—クロスリンクと非クロスリンクの比較— | 福井 清数 | 運動機能病態学 (整形外科学) |
| 関節外科 (2008.11) | サポートリングを用いない臼蓋側再建 | 兼氏 歩 | 運動機能病態学 (整形外科学) |
| Hip Joint (2008.11) | 前・初期変形性股関節症に対する寛骨臼回転骨切り術の長期成績—15年以上観察例における病期進行の危険因子— | 兼氏 歩 | 運動機能病態学 (整形外科学) |
| 別冊整形外 (2008.10) | 人工靭帯を用いた円錐靭帯再建術によるNeer分類type II 鎖骨遠位端骨折の治療成績 | 岡田 正人 | 運動機能病態学 (整形外科学) |
| 別冊整形外 (2008.10) | 上腕骨外側上顆炎に対するNirschl法の治療成績 | 岡田 正人 | 運動機能病態学 (整形外科学) |
| 別冊整形外 (2008.10) | 新しい内固定剤を用いた上腕骨遠位部骨折の治療成績—ONI Transcondylar PlateとMayo Clinic Congruent Elbow Plate System— | 前岡 勇人 | 運動機能病態学 (整形外科学) |
| 中部整災誌 (2008.9) | 腰部脊柱管狭窄症に対する片側進入両側除圧術の侵襲度比較 | 奥田 鉄人 | 運動機能病態学 (整形外科学) |
| MB Orthop (2008.7) | 人工股関節置換術後の疼痛 | 杉森 端三 | 運動機能病態学 (整形外科学) |
| 中部整災誌 (2008.7) | 成人変形性股関節症に対する大腿骨減捻骨切り術の試み | 兼氏 歩 | 運動機能病態学 (整形外科学) |
| 中部整災誌 (2008.7) | 片側進入低侵襲TLIFの臨床成績とその手術侵襲について 多裂筋への侵襲に着目して | 藤田 拓也 | 運動機能病態学 (整形外科学) |
| Physics in Medicine and Biology (2008.6) | Computational model for calculating body-core temperature elevation in rabbits due to whole-body exposure at 2.45 GHz | M.Kojima | 眼科学 |
| Current Medical Research and Opinion (2008.12) | Calculation of AQCmax : Comparison of five ophthalmic fluoroquinolone solutions | M.Fukuda | 眼科学 |
| リハビリテーション学科 東北文化学園大学 リハビリテーション学科 紀要 (2009.1) | Assessment of pinguecula and pterygium in the aging eye with ultraviolet fluorescence photography (UVFP) : Data analysis of eye disease surver in Shanxi China | K.Sasaki | 眼科学 |

小計 26件

| 雑誌名 (発行年月) | 題 名 | 発表者名 (著者名) | 所属部門 |
|--|---|-------------------|------------------|
| 日本白内障学会会誌 (2008.6) | 電波曝露が眼に及ぼす影響 | 小島正美 | 眼科学 |
| 紫外線環境保健マニュアル (2008.6) | 紫外線の眼への影響 | 佐々木洋 | 眼科学 |
| 太陽紫外線防御研究委員会 (2008.7) | 眼の紫外線対策の新常識が明らかに | 佐々木洋 | 眼科学 |
| あたらしい眼科 (2009.10) | アスタキサンチンの家兎眼内動態の検討 | 福田正道 | 眼科学 |
| IOL&RS (2009.1) | 白内障から疑う全身疾患 | 佐々木洋 | 眼科学 |
| あたらしい眼科 (2009.1) | 観察研究(コホート研究):レイキヤビック・アイ・ステディ | 佐々木洋 | 眼科学 |
| 日本の眼科 (2009.2) | 眼と紫外線 | 佐々木洋 | 眼科学 |
| あたらしい眼科 (2009.3) | ニューキノロン系抗菌剤点眼薬と非ステロイド抗炎症点眼薬の培養家兎由来角膜細胞に対する影響 | 福田正道 | 眼科学 |
| 日本白内障学会会誌 (2009.3) | 白内障の予防 | 佐々木洋 | 眼科学 |
| 日本鼻科学会誌 (2008.4) | 胆管用Tチューブを使用した内視鏡下鼻内DCR法の検討 | 村田 英之 | 感覚機能病態学 (耳鼻咽喉科学) |
| 頭頸部癌 (2008.12) | 進行下咽頭癌における術前化学放射線療法に対する病理学的効果の検討 | 辻 裕之 | 感覚機能病態学 (耳鼻咽喉科学) |
| 日本耳鼻咽喉科感染症研究会会誌 | 当科における急性喉頭蓋炎症例の緊急気道確保のタイミング | 宮澤 徹 | 感覚機能病態学 (耳鼻咽喉科学) |
| Hip Joint (2008. 11.30) | 変形性股関節症患者の片脚立位時における中殿筋の活動様式 | 織田真由美, 神戸晃男, 山口昌夫 | リハビリテーションセンター |
| Hip Joint (2008. 11.30) | 片側THA患者の脚長差と術側下肢荷重率との関係 | 荻越公司, 神戸晃男, 山口昌夫 | リハビリテーションセンター |
| Hip Joint (2008. 11.30) | 大腿骨頸部・転子部骨折安定型クリニカルパスにおける年齢と術式(人工骨頭置換術・骨接合術)による影響 | 中木哲也, 神戸晃男, 山口昌夫 | リハビリテーションセンター |
| Hip Joint (2008. 11.30) | デュシャンヌ・トレンデレンブルグ徴候を伴う変形性股関節患者の歩行時における中殿筋の運動単位制御 | 神戸晃男, 栗岩和彦, 山口昌夫 | リハビリテーションセンター |
| 石川県理学療法学雑誌 (2009. 3) | 当院における大腿骨頸部・転子部骨折安定型クリニカルパスの妥当性-受傷前歩行レベルの違いによる比較- | 中木哲也, 神戸晃男, 山口昌夫 | リハビリテーションセンター |
| Shock. (2008.6) | Venous resistance increases during rat anaphylactic shock. | Shibamoto T | 生理機能制御学 (生理Ⅱ) |
| Pflugers Arch. (2008.6). | Increased sinusoidal resistance is responsible for the basal state and endothelin-induced venoconstriction in perfused cirrhotic rat liver. | Shibamoto T | 生理機能制御学 (生理Ⅱ) |
| Pharmacology. (2008.6) | PAF, rather than histamine, participates in mouse anaphylactic hypotension. | Shibamoto T | 生理機能制御学 (生理Ⅱ) |
| Biophys J. (2008.7) | Regional difference in dynamical property of sinoatrial node pacemaking: role of Na ⁺ channel current. | Kurata Y | 生理機能制御学 (生理Ⅱ) |
| Biomed Res. (2008.8) | Changes of HCN gene expression and I(f) currents in Nkx2.5-positive cardiomyocytes derived from murine embryonic stem cells during differentiation. | Kurata Y | 生理機能制御学 (生理Ⅱ) |
| Biochem Biophys Res Commun. (2008.8) | Functional stabilization of Kv1.5 protein by Hsp70 in mammalian cell lines. | Kurata Y | 生理機能制御学 (生理Ⅱ) |
| Shock. (2009.2) | 7-nitroindazole, but not L-name or aminoguanidine, attenuates anaphylactic hypotension in conscious rats. | Shibamoto T | 生理機能制御学 (生理Ⅱ) |
| World Journal of Gastroenterology (2009.2) | Primary localized malignant biphasic mesothelioma of the liver in a patient with asbestosis | Nojima T | 病院病理部 |
| Journal of Mass Spectrometry (2009.2) | Five cases of 3-ureidopropionase deficiency detected by GC/MS analysis of urine metabolome | 久原とみ子 | 人類遺伝学研究部門 |
| 金沢医科大学雑誌 (2008.10) | GC/MS分析による本邦例中鎖アシルCoA脱水素酵素欠損症患者とMCTミルク摂取児の尿中有機酸排泄比較 | 新家 敏弘 | 人類遺伝学研究部門 |
| Journal of Chromatography B (2008.7) | Prenatal diagnosis of propionic acidemia by measuring methylcitric acid in dried amniotic fluid on filter paper using GC/MS | 井上 義人 | 人類遺伝学研究部門 |

小計 28件